

非戦を選ぶ演劇人の会、東日本大震災支援活動と実行委員の経過報告

【支援の経過】

- 3月16日 東日本大震災の支援を行うことを決定。
- 3月17日 東日本大震災の被災者支援をHPで呼びかけ始める。
- 3月25日 現地で活動しているNPO団体に寄付活動を開始。
- 4月8日 南三陸町から登米市の避難所に避難している小中学生140名のための文具
～9日 品の購入、送付作業。
- 4月19日 文房具を持って、実行委員2名が宮城県に行く。
- ～20日 訪れた避難所…登米市登米公民館・石巻市湊小学校・石巻市渡波小学校。
- 4月22日 衛生用品・生活必需品などを購入、送付。
- 5月2日 子どもたちの青空教室用の帽子などを購入、送付。
- 5月7日 文房具などを購入、送付作業。
- 5月11日 実行委員と俳優1名が石巻市の湊小学校、気仙沼の小泉中学校で紙芝居、絵
～12日 本の読み聞かせ等を行う。その他、訪れた避難所…渡波小学校・中学校
- 5月17日 野菜、衣類などを購入、送付作業。
- 5月24日 寝具類を購入、送付。
- 6月2日 戸倉小学校（旧善王寺小学校）、迫公民館で、読み聞かせと人形劇公演のボ
ランティア。
- 6月14日 実行委員1名が、福島県飯舘村を訪れ、取材。
- ～16日
- 6月29日 寝具などを購入、送付。
- 7月7日 大曲小学校での人形劇公演のボランティア。訪れた避難所…石巻市湊小学校、
～9日 石巻市雄勝の明神避難所、大須小学校、登米公民館、気仙沼の階上中学校。
- 7月11日 生活用品、衛生用品などを購入、送付作業。
- 7月23日 生活用品などを購入、送付作業。
- 7月26日 寝具などを購入、送付。
- 8月23日 実行委員2名が松本の日本チェルノブイリ連帯基金を訪れ、取材。
- ～24日
- 9月20日 実行委員1名が毛布、下着などの物資として寄付された支援を持って宮城へ。
- ～21日 訪れた場所…石巻市渡波小学校、登米市南方避難所、東京災害ボランティア
ネットワークの現地事務局（「ふれあい喫茶」を行う団体）。

※ 10月にも、実行委員（延べ人数4名）は仮設住宅を3回訪れ、支援活動は行っている。

【非戦を選ぶ演劇人の会の審査委支援で寄付をした団体、支援した避難所・仮設住宅】

シビック・フォース、福島県災害対策本部、国境なき子どもたち、アムダ、国境なき医師

団、ワールド・ビジョン・ジャパン、日本チェルノブイリ連帯基金、シャプラニール、日本国際ボランティアセンター、TSUNAMI PROJECT ～ツナミプロジェクト～、東京災害ボランティアネットワーク、シャンティ国際ボランティア会、遠野まごころネット

登米市登米公民館、登米市南方イオン跡地仮設住宅、南三陸町戸倉中学校、石巻市湊小学校、石巻市渡波小学校、渡波中学校、石巻市大須小学校、石巻市明神避難所、石巻市蛇田公民館、気仙沼市小泉中学校、気仙沼市階上中学校、東松島市大曲小学校、東松島市上町西地区センター、東松島市四反走集会所

【支援した物資】

■文房具・事務用品など

ノート、鉛筆、シャーペン、シャーペンの芯、消しゴム、筆箱、スケール、鉛筆削り、色鉛筆、クレヨン、画用紙、シール、筆ペン、ホチキス、計算機、日記帳（手帳）、ホワイトボード、コピー用紙

■生活必需品・寝具など

シーツ、タオルケット、枕カバー、布団カバー、毛布、扇風機、クリアーケース、洗剤、ティッシュ、日傘、バック、長靴、作業用手袋、ペーパータオル、おもちゃ、日記帳、帽子、絵本

■衛生用品・薬

殺虫剤、ポカリスエット粉末、かゆみ止め、蚊取り線香、ハエたたき、作業用手袋

■衣類

ベビー服、婦人ズボン、婦人服、婦人靴、下着、Tシャツ

■食費

野菜、菓子